

第3章 くらしの満足度【問7】

1 重要度【問7】

身近な生活に関する43項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

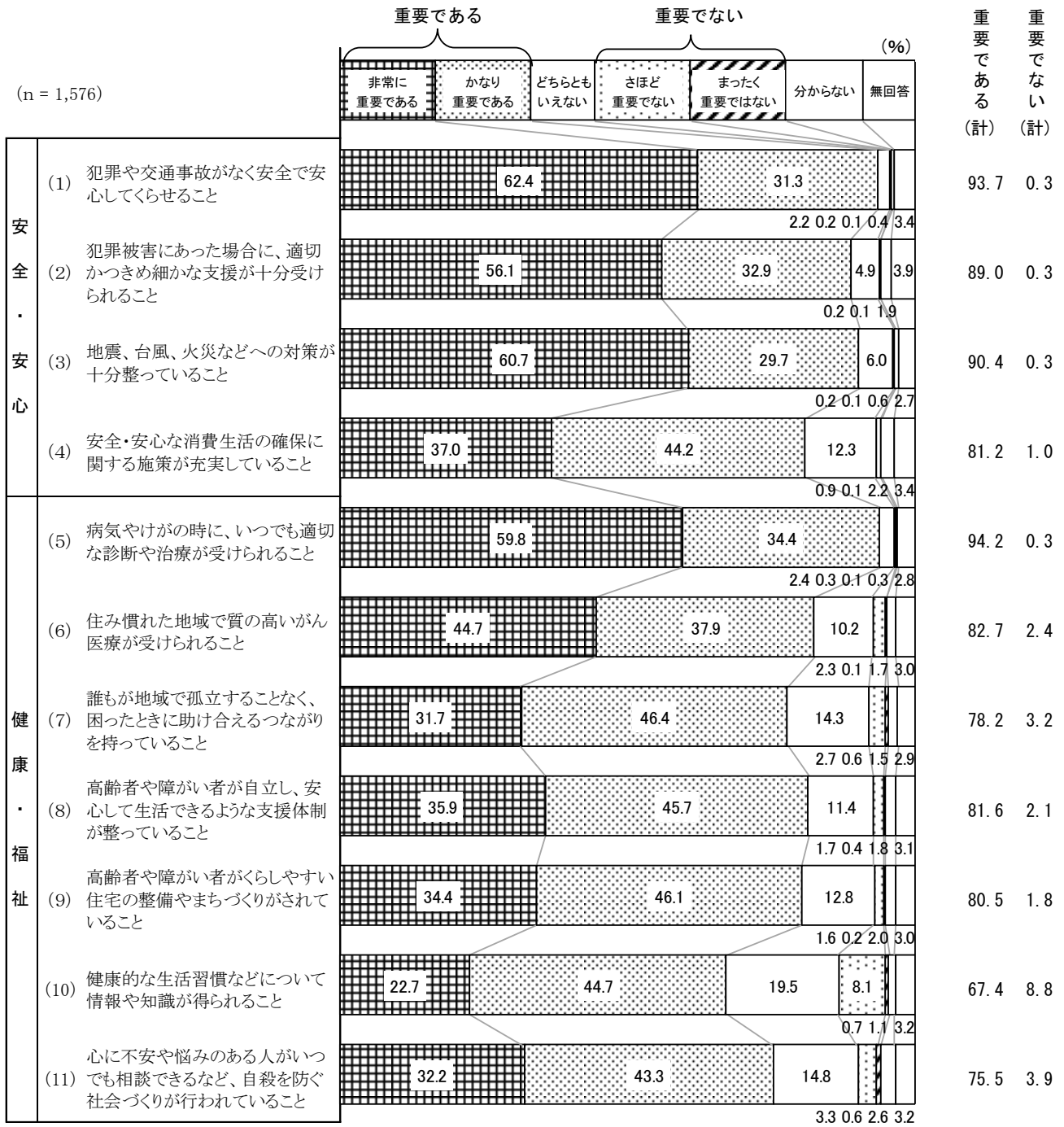
【全体の状況】

項目別の重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

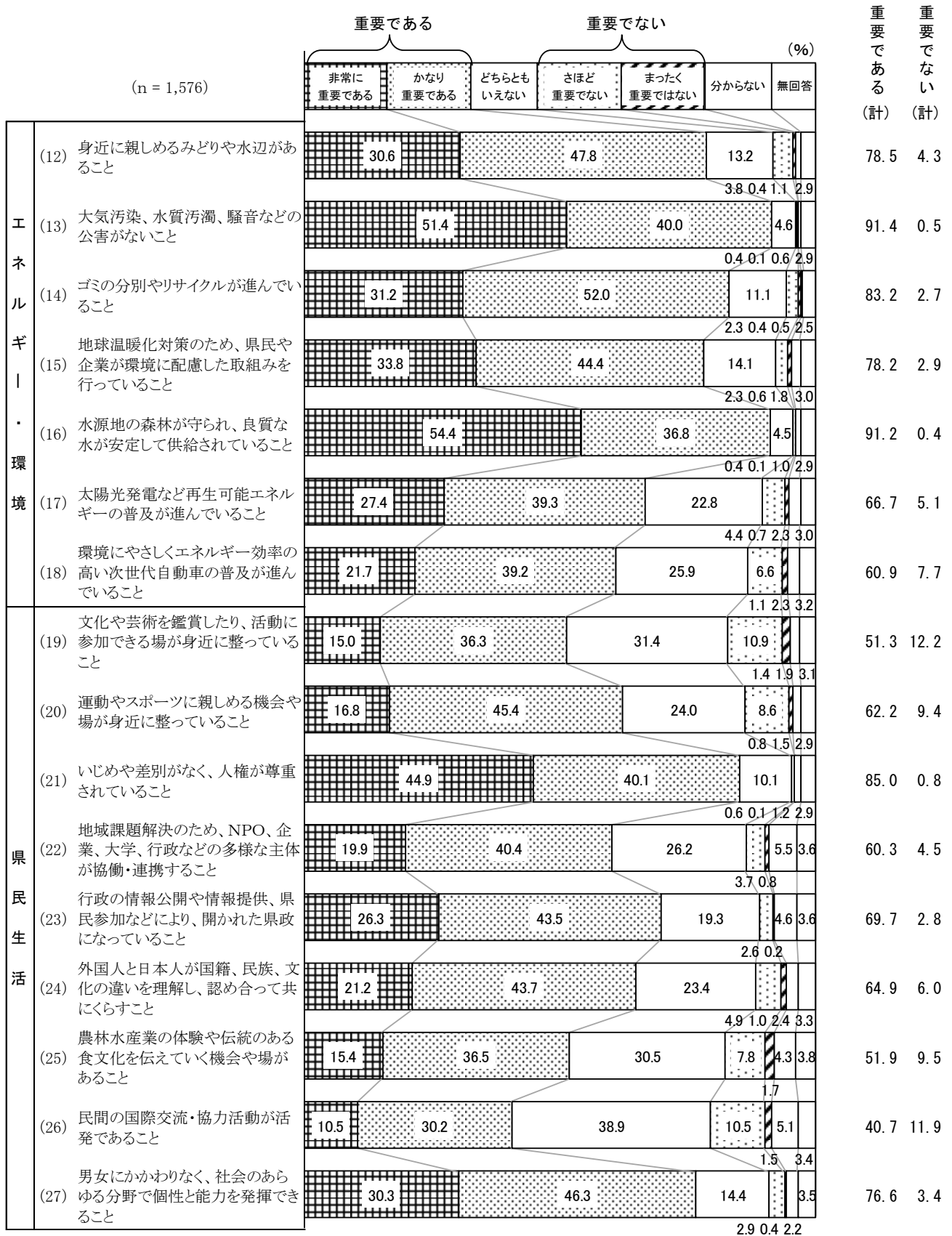
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(5) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」が94.2%で最も多く、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心してらせること」(93.7%)と「(13) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(91.4%)が続いた。(図表3-1-1)

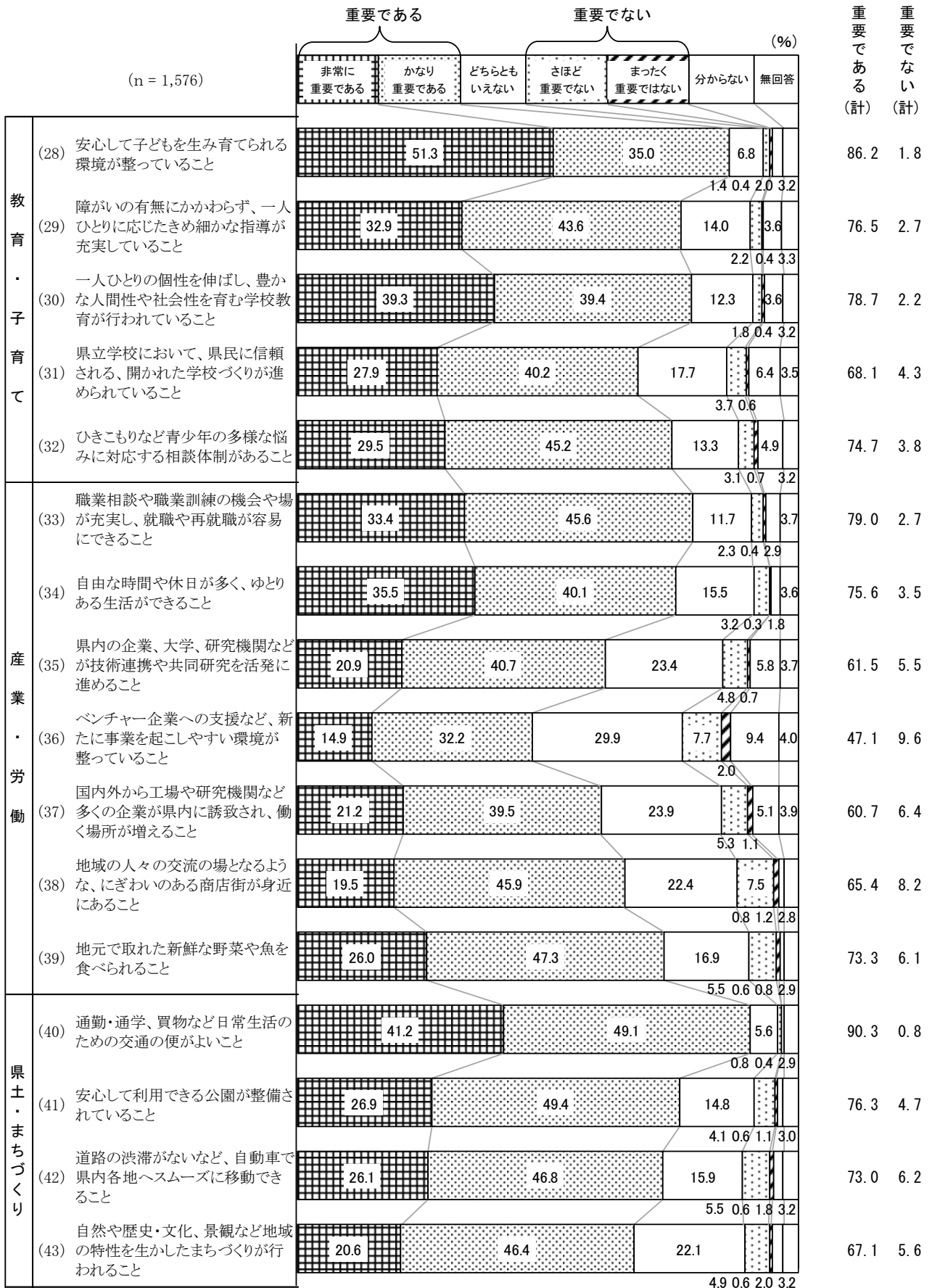
図表3-1-1 重要度



図表3-1-1 重要度（つづき）



図表3-1-1 重要度（つづき）



【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去の調査と比較すると、上位6項目は、前回調査と同じ項目となっている。(図表3-1-2)

図表3-1-2 重要度《重要である》の上位10項目－過去との比較

	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)
1位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(95.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(94.6%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(95.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.7%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.2%)
2位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(93.8%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(95.4%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(92.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(93.7%)
3位	下水道が整備されていること(91.8%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.4%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.9%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.4%)
4位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(90.8%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.7%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.8%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.2%)
5位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(92.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.3%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.4%)
6位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.2%)	下水道が整備されていること(90.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(91.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.3%)
7位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(89.9%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(91.4%)	下水道が整備されていること(89.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.0%)
8位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(89.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(89.4%)	下水道が整備されていること(91.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(87.1%)	安心して子どもを育てられる環境が整っていること(86.2%)
9位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.2%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(91.1%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(87.0%)	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること(85.0%)
10位	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(87.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(89.1%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.7%)	安心して子どもを育てられる環境が整っていること(85.3%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(83.2%)

※各項目の過去との比較については、図表A (97～107ページ)を参照

図表3-1-3 重要度《重要である》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(13)	(16)	(3)	(40)	(2)
	地 域 上段：順位 下段：(%)	な病 診気 断や やけ 治が 療の が受 けら れる こと も適 切	し犯 て罪 くや ら交 せ通 る事 故が なく 安全 で安 心	公大 害気 が汚 染、 水質 汚濁、 騒音 などの	が水 安源地 定して 森林が 守られ 、良質 な水	十地 分震、 整、台 つて風、 いて火 災など への対 策が	た通 勤の・ 交通学 の、買 物が よい日 常生活 の
全 体 (n=1,576)	① 94.2	② 93.7	③ 91.4	④ 91.2	⑤ 90.4	⑥ 90.3	⑦ 89.0
横 浜 (n= 601)	① 95.0	② 93.5	⑤ 91.2	③ 92.2	④ 91.5		
川 崎 (n= 198)	① 97.0	③ 93.4	④ 92.9		② 94.9	④ 92.9	
相模原 (n= 113)	② 92.0	① 92.9	② 92.0	④ 90.3			⑤ 89.4
横須賀三浦 (n= 128)	① 97.7	② 95.3	③ 94.5	④ 93.0			⑤ 92.2
県 央 (n= 152)	② 92.1	① 95.4	④ 88.8			④ 88.8	③ 89.5
湘 南 (n= 249)	② 95.6	① 96.0	② 95.6		④ 94.0	④ 94.0	
県 西 (n= 63)	② 93.7	④ 90.5	③ 92.1		① 95.2		④ 90.5

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-1-4 重要度《重要である》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(5)	(1)	(13)	(16)	(3)	(40)	(2)	(28)	(21)	(14)	(6)	(8)	(4)	(34)
	な病 診気 断や けが 治療 が受 けら れら れ るこ と	犯 罪や 交 通事 故が なく 安全 で安 心	公 害が ない こと	大 気汚 染、 水質 汚濁 、騒 音な どの	水 源地 の森 林が 守ら れ、 良質 な水	地 震、 台風 、火 災な どへ の対 策が	通 勤・ 通 学、 買物 など 日常 生活 の	犯 罪被 害に あつ た場 合に 、適 切か	環 境が 整つ てい るこ と	安 心し て子 ども を生 み育 てら れる	さ い じめ や差 別が なく 、人 権が 尊重	住 み慣 れた 地域 で質 の高 いがん 医	高 齢者 や障 がい 者が 自立 し、 安心	安 全・ 安心 な消 費生 活の 確保 に 関
性・年代 上段：順位 下段：(%)														
全 体 (n=1,576)	① 94.2	② 93.7	③ 91.4	④ 91.2	⑤ 90.4	⑥ 90.3	⑦ 89.0	⑧ 86.2	⑨ 85.0	⑩ 83.2	⑪ 82.7	⑫ 81.6	⑬ 81.2	⑭ 75.6
男 性 (n= 661)	② 94.3	① 95.0	③ 92.6	④ 92.1	⑤ 90.0									
女 性 (n= 825)	① 95.8	② 93.5	④ 92.0	⑤ 91.8	③ 92.7									
男性18～29歳 (n= 31)	② 93.5	① 96.8			③ 90.3		③ 90.3						③ 90.3	③ 90.3
30歳代 (n= 78)	② 96.2	① 97.4		③ 94.9		③ 94.9		⑤ 93.6						
40歳代 (n= 138)	② 94.9	① 100.0	⑤ 93.5	⑤ 93.5	③ 94.2		③ 94.2							
50歳代 (n= 146)	① 96.6	⑤ 91.8	① 96.6	③ 95.9	④ 92.5									
60歳代 (n= 130)	③ 91.5	① 95.4	② 92.3	④ 90.0	⑤ 87.7									
70～74歳 (n= 87)	① 94.3	② 93.1	② 93.1	⑤ 92.0						② 93.1				
75歳以上 (n= 51)	① 90.2	③ 88.2		⑤ 84.3					⑤ 84.3	① 90.2	④ 86.3			
女性18～29歳 (n= 42)	① 95.2	① 95.2			① 95.2		① 95.2	① 95.2						
30歳代 (n= 116)	① 97.4	③ 94.0	③ 94.0	③ 94.0	③ 94.0	② 94.8								
40歳代 (n= 183)	② 98.4	① 98.9	④ 95.6		③ 96.2	⑤ 95.1								
50歳代 (n= 160)	① 94.4	① 94.4	① 94.4		① 94.4		⑤ 91.3							
60歳代 (n= 168)	① 96.4		④ 92.3	② 94.0						⑤ 91.7		③ 92.9		
70～74歳 (n= 99)	① 93.9	⑤ 89.9		④ 90.9	⑤ 89.9	② 91.9				② 91.9				
75歳以上 (n= 57)	② 89.5	⑤ 86.0		② 89.5	④ 87.7					① 91.2				

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/)

2 満足度【問7】

「重要度」で尋ねた項目と同じ43項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「分からない」を加えた6区分とした。

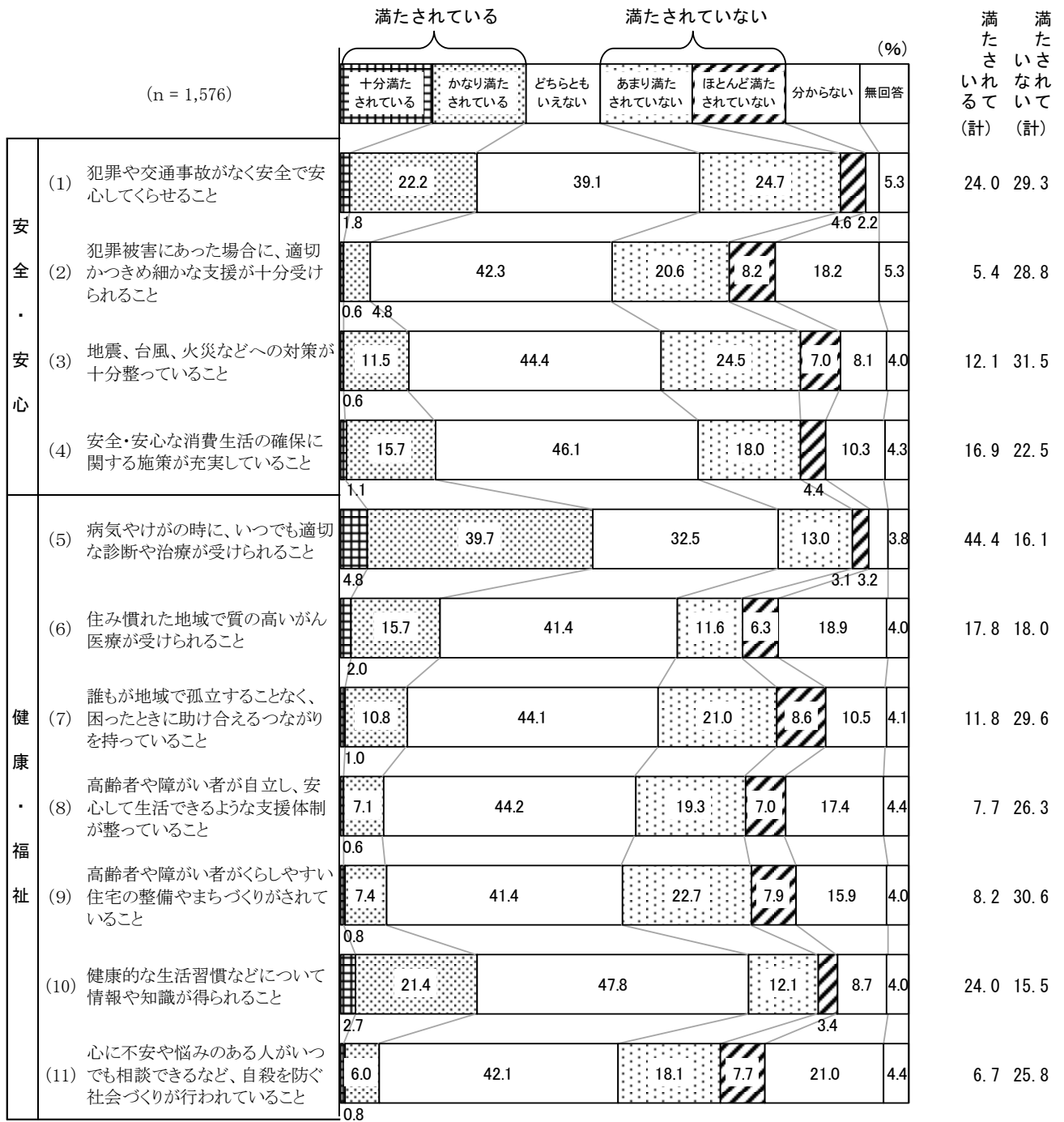
【全体の状況】

項目別の満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

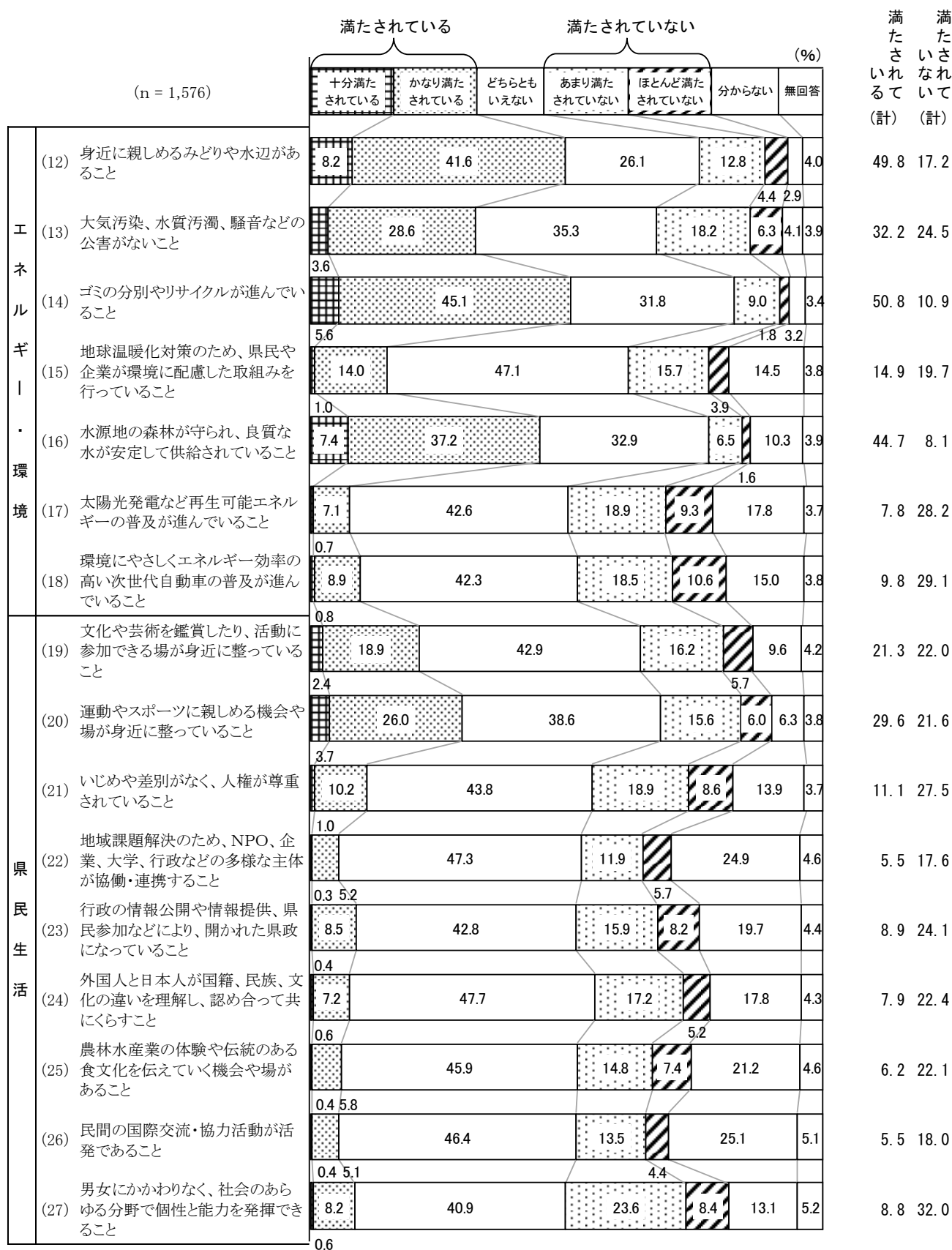
「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(14) ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」が50.8%で最も多く、「(12) 身近に親しめるみどりや水辺があること」(49.8%)と「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」(48.4%)が続いた。

「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が43.8%で最も多く、「(42) 道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」(36.7%)と「(27) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること」(32.0%)が続いた。(図表3-2-1)

図表3-2-1 満足度



図表3-2-1 満足度（つづき）



図表3-2-1 満足度（つづき）

		満足度							満たされている (計)	満たされていない (計)
		満たされている		満たされていない			その他			
		十分満たされている	かなり満たされている	どちらとも いえない	あまり満た されていない	ほとんど満た されていない	分からない	無回答		
教育・子育て	(28) 安心して子どもを生き育てられる環境が整っていること	16.8	36.0		22.2	8.8	10.3	4.7	18.0	31.0
	(29) 障がいの有無にかかわらず、一人ひとりに応じたきめ細かな指導が充実していること	6.7	43.2		17.3	7.4	20.3	4.8	7.0	24.7
	(30) 一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	7.2	40.0		18.5	10.7	18.1	4.8	7.9	29.2
	(31) 県立学校において、県民に信頼される、開かれた学校づくりが進められていること	6.8	42.6		12.2	6.2	26.4	5.1	7.5	18.5
	(32) ひきこもりなど青少年の多様な悩みに対応する相談体制があること		39.3		15.5	7.0	29.2	4.8	4.3	22.5
	(33) 職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること	6.3	39.3		20.4	8.0	20.6	5.1	6.7	28.4
産業・労働	(34) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	17.4	37.6		19.0	12.2	5.9	4.9	20.4	31.3
	(35) 県内の企業、大学、研究機関などが技術連携や共同研究を活発に進めること	9.9	42.8		9.9	32.4	5.1	6.1	13.6	
	(36) ベンチャー企業への支援など、新たに事業を起ししやすい環境が整っていること	8.4	43.3		8.4	34.6	5.5	3.3	13.2	
	(37) 国内外から工場や研究機関など多くの企業が県内に誘致され、働く場所が増えること	14.1	42.0		14.1	28.2	5.2	4.9	19.7	
	(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること	14.2	31.3		27.0	16.9	5.3	3.7	15.8	43.8
	(39) 地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	26.3	32.4		20.4	8.6	5.4	4.1	29.2	29.0
県土・まちづくり	(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	8.8	39.5		24.4	16.4	3.8	48.4	22.1	
	(41) 安心して利用できる公園が整備されていること	6.4	33.1		30.5	14.8	6.3	4.9	39.5	21.1
	(42) 道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること	14.7	36.3		26.7	10.0	6.7	4.3	16.1	36.7
	(43) 自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること	19.8	44.7		12.2	12.2	4.3	21.6	17.1	

【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去の調査と比較すると、今年度から追加された項目である「(14) ゴミの分別やリサイクルが進んでいること」が第1位、平成28年度～令和元年度まで第3位だった「(12) 身近に親しめるみどりや水辺があること」が第2位、平成28年度～令和元年度まで第2位だった「(40) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が第3位となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 満足度《満たされている》の上位10項目－過去との比較

	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)
1位	下水道が整備されていること(68.5%)	下水道が整備されていること(65.4%)	下水道が整備されていること(68.0%)	下水道が整備されていること(68.2%)	ゴミの分別やリサイクルが進んでいること(50.8%) (新規)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(51.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(44.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(49.7%)	身近に親しめるみどりや水辺があること(49.8%)
3位	身近に親しめる緑や水辺があること(47.3%)	身近に親しめる緑や水辺があること(44.1%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.6%)	身近に親しめる緑や水辺があること(46.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(48.4%)
4位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(44.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(47.3%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(43.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(44.7%)
5位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(41.4%)	安心して利用できる公園が整備されていること(43.5%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(41.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.4%)
6位	安心して利用できる公園が整備されていること(43.4%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.9%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.0%)	安心して利用できる公園が整備されていること(39.5%)
7位	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(41.6%)	安心して利用できる公園が整備されていること(39.0%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(42.3%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.5%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(32.2%)
8位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.2%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(30.9%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.7%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(29.6%)
9位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(31.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(33.2%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(29.6%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(29.2%)
10位	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(27.4%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(31.8%)	文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること(26.4%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること 健康的な生活習慣などについて情報や知識が得られること(24.0%)

※「下水道が整備がされていること」は令和2年度より削除

※各項目の過去との比較については、図表B(108～118ページ)を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去の調査と比較すると、平成28年度～令和元年度の調査と同様に、「(38) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が第1位となった。「(42)道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」は、前回調査の第4位から第2位となった。「(27) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること」は、前回調査の第7位から第3位となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 満足度《満たされていない》の上位10項目－過去との比較

	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)	平成30年度 (n = 1,330)	令和元年度 (n = 1,385)	令和2年度 (n = 1,576)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.5%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.6%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.8%)
2位	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(33.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(37.8%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(36.7%)
3位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(32.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(34.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.1%)	高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(35.2%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(32.0%)
4位	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(32.3%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(31.7%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.9%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(31.5%)
5位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.5%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.3%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(33.6%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(31.3%)
6位	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(31.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(31.7%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(28.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.1%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(31.0%)
7位	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(31.5%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(28.5%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(31.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(30.6%)
8位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.7%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(28.0%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性をはぐむ学校教育が行われていること(31.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもっていること(29.6%)
9位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(29.5%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(30.5%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(27.7%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.8%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(29.3%)
10位	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を發揮できること(29.2%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(27.2%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(30.3%)	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること(29.2%)

※各項目の過去との比較については、図表B (108～118 ページ) を参照

図表3-2-4 満足度《満たされている》の上位項目－地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

(番号) 項目 地域 上段：順位 下段：(%)	(14)	(12)	(40)	(16)	(5)	(41)	(39)
		がゴミの分別やサイクル	水辺に親しむ釣りや	が常勤・通学、買い物など	さ良水受で病けも適切な診察や治療が	良質の水が豊富にあり、	が安心できる公園
全体 (n=1,576)	① 50.8	② 49.8	③ 48.4	④ 44.7	⑤ 44.4	⑥ 39.5	⑨ 29.2
横浜 (n= 601)	② 49.6	③ 46.9	① 50.9	④ 45.3	⑤ 44.3		
川崎 (n= 198)	② 51.5	③ 43.4	① 59.6		⑤ 41.9	④ 42.9	
相模原 (n= 113)	④ 41.6	② 47.8		③ 46.9	① 49.6	⑤ 38.9	
横須賀三浦 (n= 128)	② 51.6	① 53.1	⑤ 39.8		③ 43.8		③ 43.8
県央 (n= 152)	① 55.3	② 49.3	④ 44.7	④ 44.7	③ 46.1		
湘南 (n= 249)	② 58.6	① 59.4	③ 49.0	④ 46.2		⑤ 43.8	
県西 (n= 63)	⑤ 46.0	① 73.0		② 58.7	③ 55.6		④ 49.2

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査： <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-5 満足度《満たされていない》の上位項目—地域別

※図表中の丸数字は、その地域における順位を表す。

項目 (番号)	(38)	(42)	(27)	(3)	(34)	(28)	(9)	(7)	(1)	(30)	(18)	(39)	(17)	(8)	(13)	(6)
	地域 とに ぎわ いの ある 商店 街が 身近 にある こと	道路 の渋 滞が ない など 、自 動車 で県 内各 地へ スム ーズ に移 動で きる こと	男 女に かか りな く、 社会 のあ らゆ る能 力を 発揮 でき ること	地震 、台 風、 火災 など への 対策 が十 分整 つて いる こと	自由 な時 間や 休日 が多 く、 ゆと りあ る生 活が でき ること	安心 して 子ど もを 生み 育て られ る環 境が 整っ てい ること	高齢 者や 障が い者 がく らし やす い住 宅の 整備 やま ちづ くり がさ され てい ること	誰も が地 域で 孤立 する こと なく 、困 つ た時 きに 助け 合え るつ なが りを持 つて いる こと	犯罪 や交 通事 故が なく 安全 で安 心し てく らせ ること	一人 ひと りの 個性 を伸 ばし 、豊 かな 人間 性や 社会 性を 育む 学校 教育 が行 われ ている こと	環境 にやさ しく エネ ルギ ー効 率の 高い 次世 代自 動車 の普 及が 進ん でい ること	地元 で取 れた 新鮮 な野 菜や 魚を 食べ られる こと	太陽 光発 電な ど再 生可 能エ ネル ギー の普 及が 進ん でい ること	高齢 者や 障が い者 が自 立し 、安 心し て生 活で きる よう な支 援体 制が 整っ てい ること	大気 汚染 、水 質汚 濁、 騒音 など の公 害が ない こと	住み 慣れ た地 域で 質の 高い がん 医療 が受 けら れる こと
全 体 (n=1,576)	① 43.8	② 36.7	③ 32.0	④ 31.5	⑤ 31.3	⑥ 31.0	⑦ 30.6	⑧ 29.6	⑨ 29.3	⑩ 29.2	⑪ 29.1	⑫ 29.0	⑬ 28.2	⑭ 26.3	⑮ 24.5	⑯ 18.0
横 浜 (n= 601)	① 43.1	② 31.9		④ 30.4					⑤ 30.3			③ 31.4				
川 崎 (n= 198)	① 38.4		④ 35.4	③ 36.4		② 36.9		⑤ 32.3								
相 模 原 (n= 113)	① 47.8	② 43.4					③ 42.5					⑤ 36.3		④ 37.2		
横 須 賀 三 浦 (n= 128)	② 39.1	① 43.8	③ 38.3	⑤ 37.5	③ 38.3											
県 央 (n= 152)	① 45.4	② 39.5									③ 35.5		③ 35.5		⑤ 32.2	
湘 南 (n= 249)	① 52.6	② 45.4	③ 39.4		④ 36.5					⑤ 34.9						
県 西 (n= 63)	① 49.2	② 41.3	④ 36.5			⑤ 34.9										③ 38.1

※各項目の地域別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)

図表3-2-6 満足度《満たされている》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目 性・年代 上段：順位 下段：(%)	(14)	(12)	(40)	(16)	(5)	(41)
		でゴミの分別やリサイクルが進ん	あ身近こ親しめるみどりや水辺が	の通勤・通学、通の買物がよ日常生活	と水水安地森林が守られ、良質	と切気や断けが治療に、受けられるも適
全体 (n=1,576)	① 50.8	② 49.8	③ 48.4	④ 44.7	⑤ 44.4	⑥ 39.5
男性 (n= 661)	① 53.7	② 49.6	⑤ 46.4	④ 47.0	③ 48.1	
女性 (n= 825)	③ 49.3	① 50.9	② 50.4	④ 43.2	⑤ 42.3	
男性18～29歳 (n= 31)		① 51.6	③ 45.2	③ 45.2	① 51.6	③ 45.2
30歳代 (n= 78)	② 52.6	④ 47.4		① 53.8	⑤ 44.9	③ 48.7
40歳代 (n= 138)	③ 50.7	① 54.3	⑤ 43.5	④ 44.9	② 52.2	
50歳代 (n= 146)	② 49.3	③ 46.6	① 50.7	④ 45.9	⑤ 43.2	
60歳代 (n= 130)	① 51.5	② 47.7	③ 46.2	⑤ 39.2	④ 45.4	
70～74歳 (n= 87)	① 64.4	③ 54.0	⑤ 50.6	② 58.6	④ 52.9	
75歳以上 (n= 51)	① 72.5	⑤ 45.1		③ 47.1	② 52.9	③ 47.1
女性18～29歳 (n= 42)	③ 47.6	② 54.8	① 59.5		④ 45.2	④ 45.2
30歳代 (n= 116)	⑤ 36.2	② 49.1	① 55.2		④ 42.2	③ 44.0
40歳代 (n= 183)	③ 50.3	① 56.8	② 51.4	⑤ 41.0	④ 45.9	⑤ 41.0
50歳代 (n= 160)	③ 45.0	② 47.5	① 53.1	④ 40.6	⑤ 38.1	
60歳代 (n= 168)	① 52.4	② 47.6	④ 41.1	② 47.6	⑤ 38.7	
70～74歳 (n= 99)	① 61.6	② 56.6	③ 52.5	④ 50.5	⑤ 47.5	⑤ 47.5
75歳以上 (n= 57)	① 56.1	④ 42.1	③ 47.4	② 49.1	④ 42.1	

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査：http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/)

図表3-2-7 満足度《満たされていない》の上位項目－性・年代別

※図表中の丸数字は、その性・年代における順位を表す。

(番号) 項目	(38)	(42)	(27)	(3)	(34)	(28)	(9)	(7)	(1)	(30)	(18)	(39)	(2)	(33)	(17)	(21)	(11)	(13)	(24)
	地域の商店街が身近にあること	道路の渋滞がないこと	男女力を発揮できること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	安心して子どもを育てられる環境が整っていること	高齢者が障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりを持っていること	犯罪や交通事故がなく安全で安心してくらせること	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育む学校教育が行われていること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること	犯罪被害にあつた場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	就職が容易にできること	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	心に不安や悩みのある人がいつでも相談できるなど、自殺を防ぐ社会づくりが行われていること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合つて共にくらすこと
全体 (n=1,576)	① 43.8	② 36.7	③ 32.0	④ 31.5	⑤ 31.3	⑥ 31.0	⑦ 30.6	⑧ 29.6	⑨ 29.3	⑩ 29.2	⑪ 29.1	⑫ 29.0	⑬ 28.8	⑭ 28.4	⑮ 28.2	⑯ 27.5	⑰ 25.8	⑱ 24.5	㉔ 22.4
男性 (n= 661)	① 43.4	② 43.1		③ 33.3		④ 33.1									⑤ 32.1				
女性 (n= 825)	① 45.8	② 32.6	③ 32.5	⑤ 30.5			④ 31.5												
男性18～29歳 (n= 31)	⑤ 38.7	② 45.2	① 51.6		② 45.2	② 45.2								⑤ 38.7					
30歳代 (n= 78)	③ 41.0	① 52.6			② 47.4	④ 38.5					⑤ 35.9								
40歳代 (n= 138)	② 45.7	① 58.0		③ 37.7	④ 35.5			④ 35.5											
50歳代 (n= 146)	② 45.9	① 46.6		④ 32.9			④ 32.9								③ 34.2				
60歳代 (n= 130)	① 43.8	② 37.7				⑤ 34.6					④ 36.9				② 37.7				
70～74歳 (n= 87)	① 47.1		④ 34.5	② 41.4		③ 37.9	④ 34.5						④ 34.5						
75歳以上 (n= 51)	② 29.4			② 29.4							④ 27.5				④ 27.5				① 31.4
女性18～29歳 (n= 42)		④ 33.3	② 35.7		① 45.2	④ 33.3		④ 33.3		④ 33.3							② 35.7		
30歳代 (n= 116)	① 45.7		④ 40.5			② 44.0					⑤ 37.1					③ 41.4			
40歳代 (n= 183)	① 53.0	② 41.0	④ 32.2		③ 39.9					⑤ 30.1									
50歳代 (n= 160)	① 48.8			④ 35.6	④ 35.6		② 38.8	③ 36.3											
60歳代 (n= 168)	① 45.8			③ 33.3			② 37.5		⑤ 32.1	④ 32.7									
70～74歳 (n= 99)	① 37.4			③ 30.3				④ 28.3	④ 28.3					② 35.4					
75歳以上 (n= 57)	① 42.1						② 38.6					② 38.6	④ 36.8					④ 36.8	

※各項目の性・年代別の状況については、県民ニーズ調査のホームページに掲載しています。

(県民ニーズ調査 : <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)